

星「GPS R-17(M)」の所定の軌道投入に成功した。打上げ時の質量は約 2,016 kg。

## 宇宙開発の現状報告

(平成 19 年 10 月 17 日(水) ~ 平成 19 年 10 月 24 日(水))

平成 19 年 10 月 24 日  
宇宙開発委員会事務局

### 宇宙開発に関する国内の動向

10 月 21 日(日)

- 月周回衛星「かぐや(SELENE)」、クリティカルフェーズ終了  
【独立行政法人宇宙航空研究開発機構】  
宇宙航空研究開発機構(JAXA)は、月周回衛星「かぐや(SELENE)」の主衛星を所定の軌道に投入するとともに定常制御モード移行運用を行った。主衛星及び2つの子衛星の状態は正常。これにより月周回衛星「かぐや(SELENE)」の運用は、クリティカルフェーズを終了し、初期機能確認フェーズへ移行する。初期機能確認フェーズでは搭載機器の機能確認を 12 月中旬頃まで行い、その後、定常観測に移行する予定。

### 宇宙開発に関する海外の動向

10 月 18 日(木)

- デルタ 2 ロケット、航行測位衛星の打上げに成功 【米】  
10 月 17 日(水)12 時 23 分(世界標準時)、米空軍はケープカナベラル空軍基地より、デルタ 2 ロケットを打上げ、航行測位衛

10 月 22 日(月)

- ソユーズロケット、通信衛星 4 機の打上げに成功 【露・欧】  
10 月 20 日(土)20 時 31 分(世界標準時)、スターセム社は、バイコヌール宇宙基地より、ソユーズロケットを打ち上げ、グローバルスター社のデータ・音声通信衛星「グローバルスター」4 機の所定の軌道投入に成功した。打上げ時の質量は 1 機約 450 kg。
- 中国「宇宙開発における第 11 次五ヵ年計画」を発表 【中】  
10 月 18 日(木)国防科学技術工業委員会は「宇宙開発における第 11 次五ヵ年計画」を発表した。主要科学技術プロジェクトとして、有人宇宙プロジェクト、月探査プロジェクト、高分解能地球観測システム、北斗衛星航行測位システム、次世代打上げロケット開発などの継続が示されている。

10 月 24 日(水)

- NASA、スペースシャトル打上げに成功 【米】  
10 月 24 日(水)0 時 38 分(日本時間、以下同)、米国航空宇宙局(NASA)は、ケネディ宇宙センターより、スペースシャトル「ディスカバリー号」(STS-120/ISS 組立ミッション:10A)の打上げに成功した。今回のミッションでは、日本実験棟「きぼう」と欧州実験棟「コロナバス」の結合部となる米国第二結合部「ハーモニー」の取付け及び太陽電池パドルの移設等が行われる予定。帰還は、11 月 6 日(火)18 時 50 分の予定。